

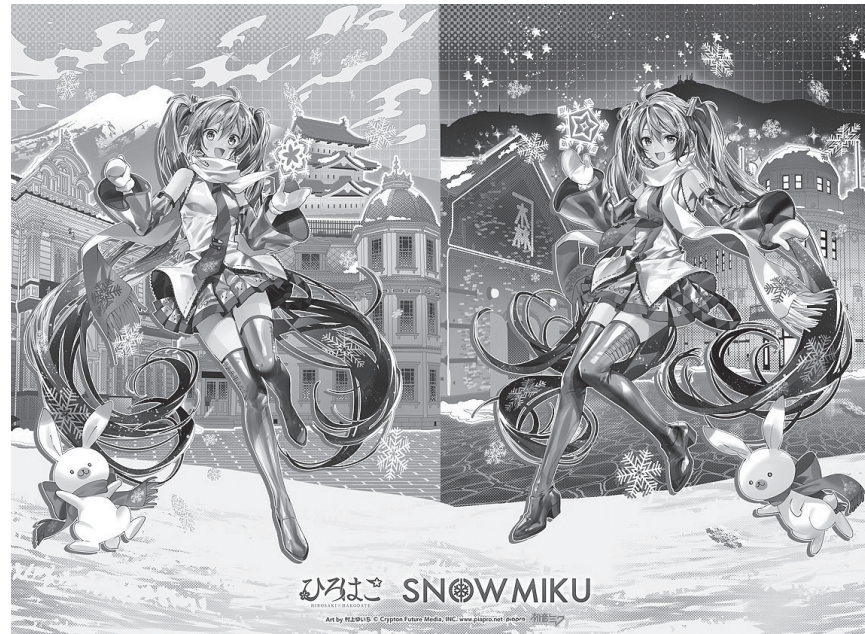


青森市だけじゃない!

「ひろはこ」冬の観光キャンペーン

01
ポスターの掲示
10/23 (水) ~ 来年 2/28 (金)
両市関係施設、観光施設、宿泊施設、商店街他
各市1枚ずつのデザインで、昼の弘前と夜の函館と対でありながらまとまりのある1枚のデザインで描かれたメインビジュアルを使用したポスターを掲示。

弘 前市と函館市でつくる「ひろはこ」連携推進実行委員会」は、今年で3回目となる冬の観光キャンペーンを展開中です。両市相互の観光客誘致や周遊観光の促進、観光消費額増加を図るもので、メインビジュアルには両市のシンボルである「岩木山」と「函館山」、それぞれの歴史的建造物を描きました。今年も、雪ミクに加えて、鏡音リン・レン、巡音ルカ、MEIKO、KAITOのピアプロキャラクターズも応援します。※「ひろはこ」とは、弘前と函館の2文字を組み合わせて作った名称です。



02
フォトスポットパネルの展示
12/1 (日) ~ 来年 2/28 (金)
JR弘前駅、函館空港
弘前のアップルパイやりんごポスト、函館のカレーや地ビールなどのデフォルメイラストを使用して写真撮影用のパネルを展示。過去に製作したパネルも各市4か所ずつ展示。

03
テーマソングMVの公開・放送
11月下旬~
YouTube公開や観光施設で放送する他、TV、ラジオ等のメディアで公開。
テーマソング: 「Snow bloom / R Sound Design feat.初音ミク」(作詞・作曲・編曲: R Sound Design)

04
歓迎アナウンスの放送
12/1 (日) ~ 来年 2/28 (金)
両市観光施設他
約1分間の雪ミクによる歓迎アナウンスを観光施設等で放送。

05
スマホで雪ミクたちと一緒に写真撮影
12/1 (日) ~ 来年 2/28 (金)
スマートフォン等で両市のポイント場所にあるマーカー画像を読み取ると雪ミクや仲間たちが画面に登場。キャンペーン期間中だけのオリジナルイラストと一緒に旅の記念の動画や写真撮影ができる。撮影した写真が対象のSNSキャンペーンで39名にひろはこ×雪ミクオリジナルTシャツ(予定)をプレゼント。

06
デジタルチェックインラリー
12/1 (日) ~ 来年 2/28 (金)
スマートフォン等で両市のポイント場所にある二次元コードを読み込んでチェックイン。両市の5か所全てにチェックインした方へ完走賞を、さらに抽選で雪ミクのオリジナルポーチ(予定)をプレゼント。

「ひろはこ」公式HPはこちら



雪ミクとは



「雪ミク」は、北海道を応援するキャラクターです。2010年の「さっぽろ雪まつり」で「真っ白い「初音ミク」の雪像」を作ったことをきっかけに誕生しました。現在では、北海道を盛り上げる各種取り組みのアンバサダーを務め、企業やキャラクターとのコラボレーションを行うなど、応援の場を多方面に広げています。12/1

(日)には「函館コレクション2024」に雪ミクが参加します。「誰ひとり取り残さないまち 函館の未来をつくる」をテーマにしたファッションショーイベントで、北海道の子ども達を中心に行われた雪ミクの似顔絵コンテストの受賞作品をあしらった衣装や雪ミクもファッションショーに登場します。



「函館コレクション2024」の詳細は、本紙14Pまたは公式HPをご覧ください。

Art by 村上ゆい / NEGI / ゆい / 雪ミク © CFM

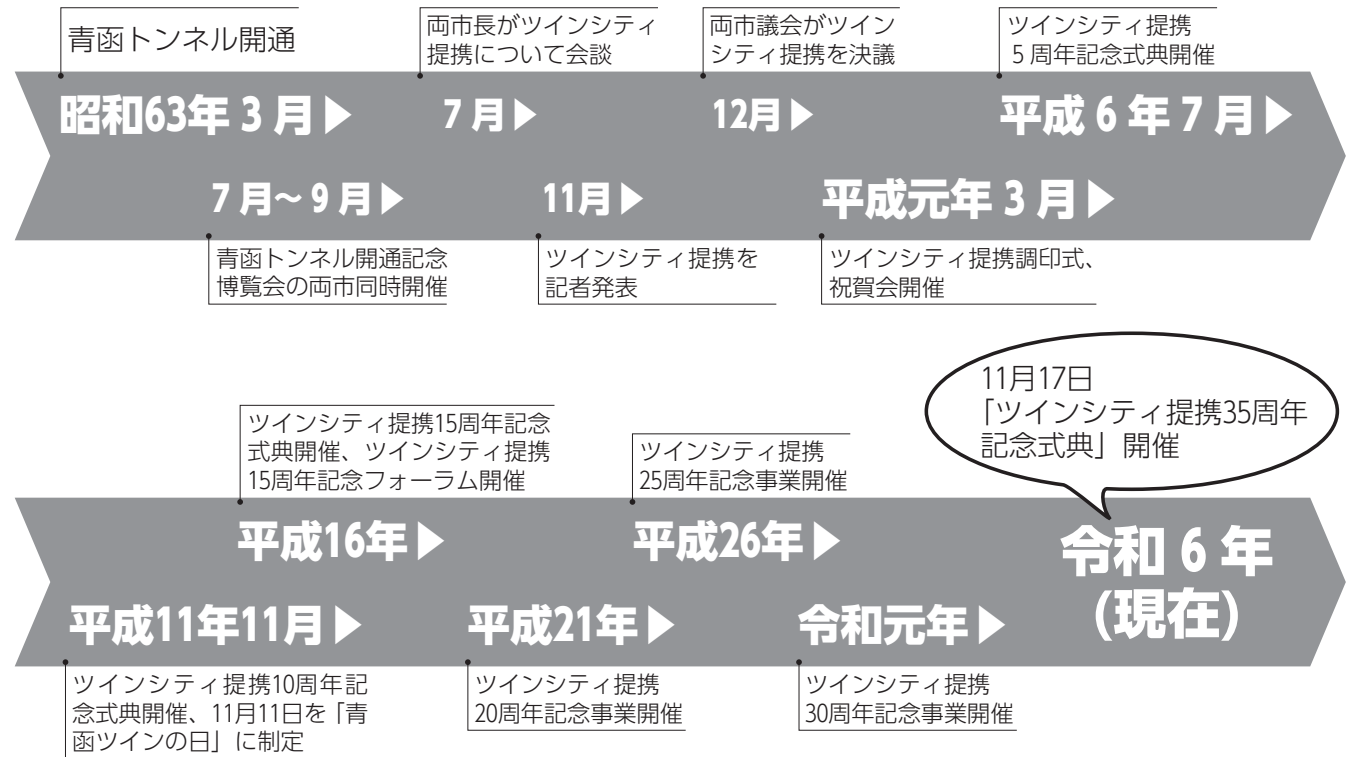
未来に向けて紡ぐ、青函圏の絆

青 函圏のつながりは、昭和63年3月の青函トンネルの開通で強まりました。それまで青函連絡船で4時間かかっていた函館市と青森市との往来が、鉄路で2時間に。さらに、平成28年3月の北海道新幹線の開業により1時間と大幅に短縮され、津軽海峡を隔てた「心理的な遠さ」が解消されました。今回の特集では、今年35周年を迎える青森・函館ツインシティの歩みを振り返るとともに、青函圏の交流のいまを感じられる「ひろはこ冬の観光キャンペーン」(弘前市)と「青函産学連携商品開発」(青森市)の2つの取り組みを紹介します。



これまでの青森・函館ツインシティの歩み

函館市と青森市は「手をつなぐ、心を結ぶツインシティ」を合言葉に交流を深め、今年でツインシティ提携35周年。11月17日に提携35周年記念式典を開催しました。



青函産学連携商品開発

青函の商業高校生が
地元食材の商品開発に活躍!!

青 函ツインシティ提携35周年記念事業では、函館市と青森市の商業高校生から意見を聞きながら株式会社セブリーレブ・ジャパンが地元食材を活用した商品を開発しました。これは、函館商業高等学校の「課題研究」授業の一環でもあり、毎年3年生がさまざまな企業と協力をしながら商品開発やマーケティング活動を実践的に学んでいます。2018年には函館・成田間就航便の機内食の開発を行ったこともあるこの活動は、今年で17年目。昨年度、

地元の惣菜メーカーと共同開発した商品「だでうめえ!! 北のハンバーグ」は、商業高校フードグランプリで日本一に輝きました。
今年の高校生は、まず5月にセブリーレブから商品製造の説明を受け、市農林水産部からも道南の特産品について学びました。6月には工場見学を行い、8月と9月の試食会を経て商品が完成されました。11月19日から12月2日まで道南や青森県などのセブリーレブで販売される商品の魅力を高校生に聞きましたので、雪ミクと一緒に紹介します。

地域に貢献できることは何かをテーマに精一杯取り組みました!



函館商業高等学校の皆さん



北海道産さつまいも クリームのスフレ



てらやま 寺山 ゆうり 優梨さん (高校3年生)



Q

どんな商品ですか?

秋が旬のさつまいもを使用したスイーツです。函館牛乳を使用したクリームは、さつまいもをしっかりと感じるができます。スフレは口どけが良く、片手で手軽に食べられるケーキのような商品です。

Q

商品のポイントは?

さつまいもです!
北海道で収穫されるさつまいもはでんぷんが少なく、熱を加えるとしっとり甘くなるのが特徴です。さつまいもは新顔作物で、今北海道で注目されている食材の一つです。新顔作物は、道内で育てにくいとされてきましたが栽培技術等の向上により作れるようになった作物です。



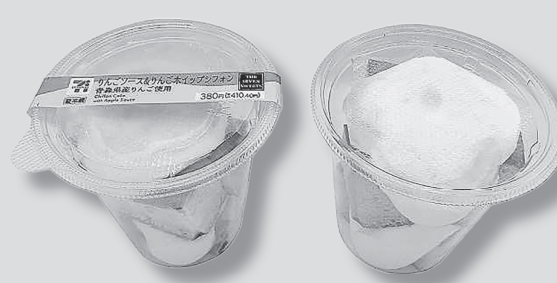
青森市から /

青森県産にんにくと Wチーズおむすび



パンチのある青森県産にんにくを使用したガーリックライスと2種類の濃厚なチーズを組み合わせたおむすびです。インパクトのあるWチーズで新しい見た目にもこだわりました。チーズとにんにく、合わないわけがありません。腹持ちよし、わやめ〜(とても美味しい)をぜひ味わってください。

りんごソース& りんごホイップシフォン



青森と言えば、りんご。青森県産ふじ、王林をホイップとソースに使用しています。りんごの食感や風味を楽しむことができ、青森県産のりんごのおいしさがギュッとつまんだ商品です。

青森の食の魅力をぎゅっと詰めた商品です!ぜひお召し上がりください!



青森商業高等学校の皆さん



函館市から /

しょうゆおむすび 桜鱈バター醤油



Q

どんな商品ですか?

函館産真昆布だしの醤油たれを使用した、函館の食文化である直巻き醤油タイプのおむすびです。北海道産の桜鱈を丁寧に手でほぐし、相性の良いバター醤油を組み合わせました。直巻き醤油おむすびとは、その名のとおり醤油が染み込んだ海苔のおむすびです。



Q

商品のポイントは?

桜鱈と函館産真昆布です!
桜鱈は近年、函館でも漁獲量が増えており商品を作るうえでも加工しやすいと聞きました。また函館市は昆布の生産量が日本一で、函館産真昆布は厚く澄んだうま味あるだしがとれることから古来より上物として扱われています。

くまがい 熊谷 みゆ 美優さん (高校3年生)

